

# 景観講演会開催報告



平成 25 年 9 月 発行:東浦町建設部都市計画課

## 景観講演会「景観と私たちの暮らし」を開催しました。

東浦町名産のぶどうの出荷が最盛期を迎えていますが、いかがお過ごしでしょうか。住民の皆さんに景観への関心を持っていただくため、9月7日（土）に勤労福祉会館で、岐阜大学工学部准教授の出村嘉史さんをお招きして、景観講演会を開催しました。

①講演会は、神谷町長のあいさつからはじまりました。東浦町には特別な史跡や町並みがある訳ではないが、町内に入ると「何かが違う」と感じるまちにしたい。そのためには町が景観を決めるのではなく、住民の皆さんが考えてほしい、という話がありました。



②続いて、出村先生の講演、演題は「景観と私たちの暮らし」。講演では「景観とは何か、なぜ景観か」「公共、共有という考え方」「私たちの居場所について」「ここで豊かに暮らすために」という内容をお話しいただきました。日本や海外の事例、東浦町の写真も使って、とてもわかりやすい講演でした。景観づくりのヒントとして、下記の事をお話しいただきました。



- 次世代に生き残るための町の風景をつくる。
- すでにある資源を資本に、いかに暮らすか、意思を示す。
- どこから何をみるかを考える。（視点場と視対象）
- 人の居場所はどこにあるかを考える。
- 人はどこを歩くのかを考える。

③講演の後に、参加者の皆さんとの意見交換、質疑応答がありました。景観計画の策定の意義、計画策定のプロセスの大切さ、東浦町の景観における農地や農業の大切さなどの意見交換がされました。

